

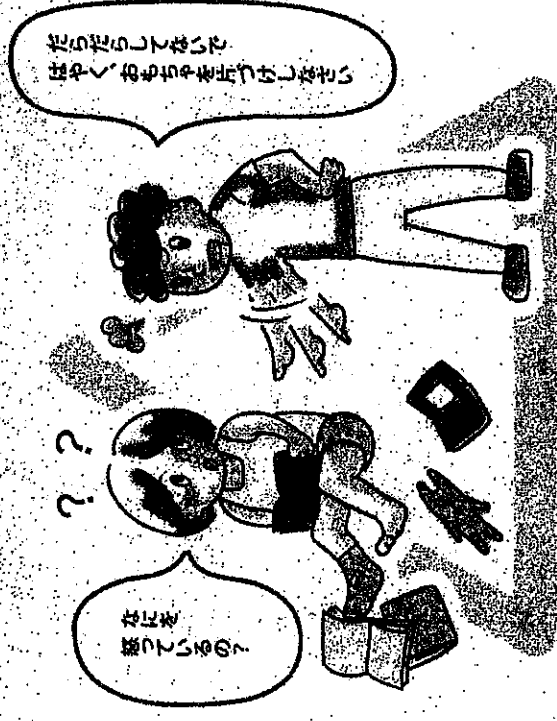
特別支援だより No.5

令和2年5月10日（月） 特別支援教育コーディネーター 松田敦子

★発達が気になる子は、どう接すればいいのでしょうか？
 発達に気になる子ども達も、理解と支援が大きく変化します。言葉かけ一つで、自己イメージもややる気も変わるのです。支援が大切なのは、どのようになり添ったらいいのか、私たちの態度やダメと決め付けられない、行動だけで評価しないのでその子の存在を肯定するあり方なのです。日々生きづらさを抱えながら自信を失いつつ過ごしています。発達に気になる子ども達の言葉や行動を表面的に修正するのではなく、まずその気持ちを受け止めてあげましょう。その手立てを、シリーズで紹介していきます。

発達に気になったら① だらしない子

「普通」という枠で比較してしまうと、何處同じことを書んでもだらだらして「ちやんとできない子」と評価されることが多くなります。



POINT /

いっもぐずぐずして
うちの手、おかし
のかしら？

どうやって
片づけたらいいか、
わからないよ～

本人の気持ち

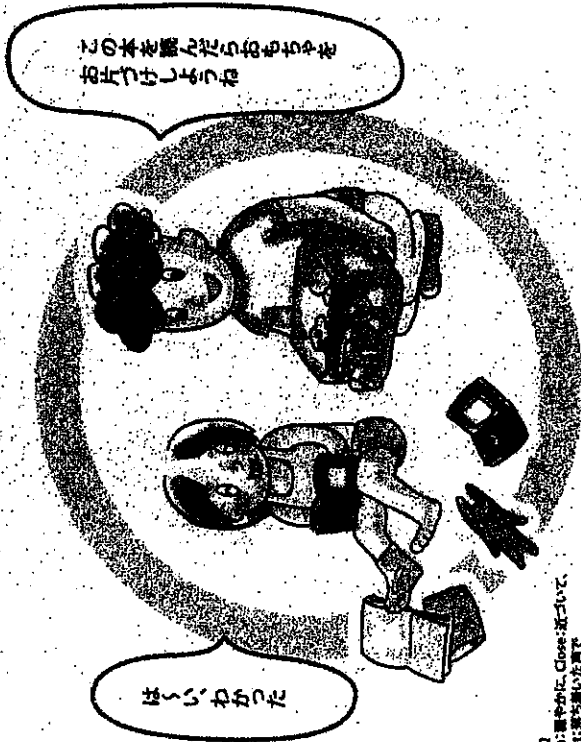
本人の気持ち

POINT /

何處おなじことを注意しても、なかなか最後までやりとげることができない子どもたちがい
ます。この子どもたちは、わざとそうしているのではなく、今やるべきことより目の前のやり
たいことに気持ちが向いてしまったり、片づけたがわかわからなければいけない
という動機づけが弱い場合があります。

発達に気になったら② 普通

「普通」という枠を外してみると、気が散っていたり、やり方がわからない、あるいはやる気スイッチが入っていないだけかもしれません。どうしたらできるかを一緒に考えてあげましょう。



POINT /

近づいてCCQ*で
具体的に指示すれば
こなすに業なのね

どうやって片づけたら
いいかわかりやすく近
くで教えてくれるから
よくわかる

本人の気持ち

本人の気持ち

POINT /

何處も叱って注意するよりも、CCQ*でおだやかに指示をくりかえすことで、今やるべきことに
注意を向けることができます。大人の側がうまく感情をコントロールすることで、子どもたち
のよいモデルになれるといえます。